

## Circle

[サークル]



## [吹奏楽部]

(since 1979)

縁の下の力持ち  
“キカク号”にまつわる  
意外な真実!

—当時の吹奏楽部の活動について教えてください。

足立さん 練習は週3(月木土)で、九州内の大学では少ない方でしたね。当時は合奏の主な練習場だった中部講堂に空調がなく、暑くて暑くて…。私が大学3年生の時に空調の効く学生プラザができた時は感動しましたね。それと楽器の運搬用に、部で軽トラを所持していたのは吹奏楽部ならではじゃないかな。

—空調がない中部講堂は考えたくないです…。運搬用の車は何年かごとに買い換えていて、今私たちが使っ

ている軽バンは“キカク号”と呼んでいます。

足立さん 当時の軽トラも“キカク号”と呼んでいましたよ。キカクさんという先輩が、初代の軽トラを購入したことが由来だと聞いています。お会いしたことはないのですが。

—初めて知りました! 代々引き継がれてきた名前なんです。足立さんがいらした頃の部員数は、どれくらいだったのですか?

足立さん 100人以上いました。人数制限のあるコンクールには出られない部員もいたので、イベントなどで演奏をする依頼演奏班を作りました。船の出港式やマーチングパレードへ行って

演奏するので、活動費稼ぎにもなっていたんですよ。

—自分たちで演奏する場を開拓していたのですね。以前は演奏会のプログラムの中に、劇があったという噂も耳にしました。

足立さん そうそう! 7月のサマーコンサートの1部で1年生に劇をしてもらうんです。1年生にとっては初舞台になるのですが、劇は与えられた試練みたいなものですよ。嫌で辞める人もいました。でも先輩から後輩へ「劇を通して1年生みんなが仲良くなるように」というメッセージだったと思います。

—私たちは、劇はもちろん合宿もできてなくて、他にもコロナ禍の制限で様々な活動が縮小してしまいました。でも新たな試みもあります。昨年から、演奏会の様子をオンラインで配信するようになったんです。

足立さん 配信は色々な角度から演奏が見られてカッコいいですね。私が顧問をしている瓊浦高吹奏楽部の撮影を担当している方は吹奏楽部のOBで私の同級生なんです。彼から「映像系の仕事したい」と相談されて「じゃあ、吹奏楽部を撮ってよ」とお願いしたところ、あっという間に九州中の吹奏楽部団体を撮るようになっちゃって。

—長大の吹奏楽部もお世話になってます。先輩方とこういった形で繋がりがあるのは、応援していただいているようで心強いです。最後に、今の吹奏楽部へメッセージをお願いします。

足立さん 学生が自分たちで集まって

Circle Interviews

学生広報  
スタッフが  
インタビュー

今回は学生広報スタッフで現役部員(2021年入学)の私が、2003年に入部され、現在は私立瓊浦高等学校で吹奏楽部の顧問を務められている足立陽平さん(吹奏楽部のOB)にお話を伺いました。

西村 聖さん  
経済学部3年

年2回開催する演奏会は最大の発表の場。3、4カ月で10曲を仕上げます。また、演奏会にかかる経費は、部員自ら足を運んで集めた広告協賛費や部費等で賄っています。

自主的に運営して、演奏会も年に2回行うというのは、実はすごい事ですね。振り返ってみても、話し合いながら物事を決定するというコミュニケーション能力は、大学時代に養われたと思います。学生間で相談しながらサウンドを作っていくというのは、本当に特殊で、でも素晴らしい環境です。最近では九州大会に出るような団体だと、学生が主体的に運営を行うサークルは少なくなってきているようですが、長大は長い歴史があって今でもその運営のやり方が続いています。自信を持って、前向きに活動を続けてほしいです。

創部年：1979年(昭和54年)

部員数：80人

活動日：月・火・木/16:00~19:30  
土/13:00~17:00

※合奏、大会・演奏会前等に変更があります。

パンフレットの中に  
「喜格」というお名前を発見!  
もしかしてこの人がキカクさん?

今回、現役の吹奏楽部員としてOBの方とお話することができ、新たな発見がたくさんありました。貴重な資料や減多に聞けないお話しに、時間があっという間に過ぎていきました。そして、脈々と受け継がれてきた歴史に触れ、この部活の一員であることに誇りを持つことができました。吹奏楽部の活動をこれからもずっと続けていけるように、まずは日々の練習を楽しみながら頑張っていきます。



長大のサークルの中でもなかなかの大所帯。経験者のほか、大学から別の楽器を始めた人や初心者など、バックグラウンドも様々な現役部員。



現在のキカク号。  
楽器の運搬に欠かせない存在です。

12月17日に  
第42回定期演奏会が開催されます。  
最新情報はこちらから。

YouTube



X



Instagram